

皆さまのお力に支えられ「目で聴くテレビ」放送 25年

「アイ・ドラゴン4」普及担当者会議開催

12月7日(水)午後2時・12月14日(水)午後2時・12月21日(水)午後3時から「アイ・ドラゴン4」普及担当者会議を開催します。「日常生活用具」として個人普及はもちろんですが、「障害者アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」や、災害対策基本法の改正による避難行動要支援者個別避難計画の市町村努力義務化など、「アイ・ドラゴン4」を全国の福祉避難所等に設置するように要望すれば実現する要件は整っています。会議を普及推進の力にさせていただきますようお願いいたします。

「アイ・ドラゴン4」は
アンテナ不要!!
テレビに簡単接続!!
24時間いつでも
「目で聴くテレビ」を見られる!!

「アイ・ドラゴン4」説明ムービー


「全国瞬時警報システム(Jアラート) 全国一斉情報伝達試験」成功

11月16日(水)11時、「全国瞬時警報システム(Jアラート)全国一斉情報伝達試験」に合わせて「アイ・ドラゴン4」と、共同研究を行っている岩手大学が開発したテレビコントローラーを連携させ、Jアラートの発信とともにNHK総合テレビを自動起動させる実証実験を行いました。その様子はNHK盛岡放送で取り上げられました。

NHK NEWS WEB 2022年(令和)

岩手 NEWS WEB

聴覚障害者にも緊急情報を 情報受信機を活用した伝達実験

11月16日 18時07分



聴覚に障害がある人たちに災害などの緊急情報をいち早く伝えるため、情報受信機を活用した伝達実験が16日、盛岡市で行われました。

16日の実験は人工衛星を通じて自治体などに緊急に情報を伝えるJアラート=全国瞬時警報システムの全国一斉の伝達試験が実施されるのにあわせて行われ、聴覚に障害がある人や盛岡市の担当者、さらにオンラインで全国各地からおよそ50人が参加しました。

実験は聴覚に障害がある人向けの情報受信機を経由して照明を点滅させ、テレビを起動させる新たなシステムを使って行われました。

午前11時にJアラートの試験送信が行われると、すぐに照明が点滅し間もなくテレビが自動で起動してNHKのチャンネルに切り替わり聴覚に障害がある人たちがテレビの画面を見ることで何が起きているかを伝えるシステムの有効性が確認されていました。

岩手県聴覚障害者協会の齋藤智子事務局長は「私たちは音で情報を得られないので、テレビが自動的に起動すると何が起きているか気づく助けになる。避難所や病院などでもこのようなシステムが広がってほしい」と話していました。

新たなシステムづくりを行っている岩手大学などは今後、システムの実用化を目指すことにしています。

岩手大学理工学部の千葉寿技術専門員は「実験は想定通りに進められてよかった。聴覚に障害がある人たちが安心して生活できるように今後も精度を上げていきたい」と話しています。

「目で聴くテレビ」で楽しい年末年始を

1,200本以上ある番組アーカイブでは、文化・スポーツ手話学習・防災など、いろいろなジャンルの手話番組を見られます。全国の情報提供施設が制作する「地方の手話」・ご当地グルメ「それいけ! くいしんぼ」・「みるつく」や、全国ろうあ者大会、デフリンピックなど「目で聴くテレビ」でしか見られない番組がたくさんあります。「目で聴くテレビ」で楽しい年末年始をお過ごしください。

●国際手話



●手話くらべ



●デフリンピック



●手トリーワールド



●新・物語のとびら



●月曜男の手話漫談



【視聴者の声】

●日聴紙を読むのは難しいけれど、アイ・ドラゴンの『目で聴く日聴紙』を見て内容がよくわかった。アイ・ドラゴンは必要だ。

- 重田・村上さんの「手話くらべ」が面白い
- デフリンピックの歴史がよくわかり勉強になった
- 「地方の手話」が見られるのがよい
- 番組アーカイブ全部見た
- もっと情報がほしい

「目で聴くテレビ」を見る会を開いてください

まだ番組を見たことがない人に「目で聴くテレビ」を紹介してください。

「アイ・ドラゴン4」を設置している場所であれば番組を見ることができます。